
新年を迎えて

長崎県知事 中村 法道

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、やはり一番記憶に新しいのは、天皇皇后両陛下をはじめ多くの皇族の皆様方のご臨席を仰ぎ「長崎がんばらんば国体」と「長崎がんばらんば大会」を開催したことであります。両大会では、お互いにパワーを与え合うかのような県民の皆様の大声援と選手の驚異的な粘りで勝利する場面があちこちで見られ、国体では悲願の天皇杯、大会でも過去最多の135個のメダルを獲得することができました。加えて、県民の皆様には、ボランティア活動やおもてなし活動など様々な形で両大会を支えていただき、まさに選手・関係者をはじめ県民の皆様の底力を見せていただきました。この心温かいふれあいや交流が生まれた県民総参加の長崎県らしい魅力あふれる大会を実現することができましたのもひとえに、関係者をはじめ、県民の

皆様のご支援とご協力の賜物であり、改めてお礼を申し上げます。今後は、このような成果を継承しながら、スポーツの振興を通じた地域活性化やまちづくり、さらには、障害のある人もない人も、ともに喜びを分かち合える社会の実現に取り組んでまいります。

さて、いよいよ本年は、長崎県総合計画の総仕上げの年であります。県民の皆様生きがいをもって暮らしていただけるよう、さらに、県民所得向上対策や人口減少対策などの各施策の充実・強化に努めてまいります。

特に、人口減少対策に不可欠な県民所得の向上には、力強い産業の育成と良質な雇用の場の創出によって、地域経済を活性化させるため、製造業や農林水産業、観光業、サービス産業における振興策を着実に実行して「しごと」を増やしていく必要があります。

そのため、製造業の競争力強化や新たなエネルギー産業の創出、戦略的かつ効果的な企業誘致を進めるとともに、農林

水産業の収益力・経営力の向上、地域資源を活かした観光振興などの施策強化に努めてまいります。併せて、観光や文化など各国の特性に応じた交流を促進するとともに、県内企業の海外展開を積極的に支援し、東アジア地域を中心とする各国の活力を本県に取り込む施策を推進してまいります。

また、雇用の場を創り、人を呼び込む好循環を支えるためには「まち」を活性化させていくことが大切です。そのため、地域活性化を実践する県全体の安心・安全な地域づくりを拡充していくとともに、地域への移住・定着を促進する相談体制や住まい対策等の強化と併せて、暮らしのサポート等を行い、地域住民のニーズに応じた総合的な支援を講じるほか、若者のしまへの定住に結びつくような対策を講じてまいります。

さらに、若者が安心して働き、結婚し、出産・子育てが出来る社会の実現のため、結婚を目指す方々への支援や、子育てと仕事の両立支援、子育て関連情報の発信強化など切れ目のない一貫した少子化対策、教育相談・学力向上対策のさらなる充実に力を注いでまいります。また、地域の方々が、健やかで生きがいのある自立した生活を送ることができるよう女性・高齢者の活躍の場の創出など、誰もが

活躍できる環境づくりを進めるとともに、介護・福祉人材の確保や元気な高齢者を増やす健康長寿対策などを推進してまいります。

そして、「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」と「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の世界遺産登録が何としても今年、来年と2年連続で実現するよう、引き続き全力で取り組み、この二つの世界遺産候補を中心に観光プロモーションを展開するなど、本県への観光客の誘致に努めてまいります。

また、本年は被爆70年という節目の年であります。長崎でも、ノーベル平和賞を受賞したパグウォッシュ会議世界大会の開催など様々な取組が行われますので、引き続き、被爆地長崎から原爆の悲惨さと非人道性を世界の人々に伝え、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を県民の皆様とともに目指してまいります。

本年も県民皆様方と意思を一つに、元気なながさき県づくりのため、人や産業、地域が輝く、長崎県の実現に向けて、全力でがんばってまいりますので、どうぞ県政への参画をよろしくお願いいたします。

結びに、この一年が皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。